

第13回厚生文教常任委員会会議記録

開 閉 会 日 時	令和4年10月27日（木曜）		午前 9時30分 開会
	休憩 9:47-48 10:07-08		
			午前10時16分 閉会
	休憩時間：0時間2分		会議時間：0時間44分
会議場所	3階委員会室		
出席委員 氏名	委員長 渡辺洋一郎	委員 堀切 忠	
	副委員長 黒田 栄継	委員 橋本 和仁	
	委員 常通 直人		
	委員 柴田 正博		
	委員 正村紀美子		
説明員	生涯学習課長	日下 勝祐	高齢者支援課長
	スポーツ振興係長	梅森 祐之	課長補佐
	都市経営課長	佐藤 季之	課長補佐
	都市経営係長	齋藤 錦	介護予防係長
			在宅支援係主査
参考人			
欠席委員 氏名	委員 西尾一則		
事務局職員	事務局長 安田敦史	総務係主査 上田瑞紀	

『会議に付した事件と会議結果など』

1 開会

委員長が開会を告げ、西尾委員の欠席を報告し、事務局から本日の委員会の日程を説明する。

2 議件

(1) 調査事項

ア 令和3年度指定管理者評価結果について 資料1

- ・都市経営課長：概要説明。資料は係長から説明する旨を告げる。
- ・都市経営係長：資料説明（「芽室中央公民館」及び「社会体育施設等」の評価結果）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・柴田委員：中央公民館の評価結果において、「照明のLED化などの実施し、経費縮減に努めている。」という評価があるが、この行為は、町の責務ではなく指定管理者の責任分担となるのか？
- ・生涯学習課長：全体整備（更新）は町が担い、個別の修繕（概ね10万円以下）については指定管理者となる。
- ・黒田委員：評価結果を具体的にどのように反映するかを伺いたい。

- ・生涯学習課長：緊急度・優先度を踏まえて、課題や改善事項について、緊急・計画の区分で取り組んでいく。
- ・黒田委員：評価委員に対する評価資料は、手元の添付資料が全てか？
- ・都市経営係長：お見込み通りである。
- ・黒田委員：第三者及び利用者等からの声は評価資料の対象にならないのか？
- ・都市経営課長：評価の視点としては、指定管理者における申請時の提案と実績の比較を重視している。加えて言えば、評価委員は当該施設の利用当事者から選考していることから、臨場感のある指摘・評価を得られる工夫はしている。
- ・堀切委員：評価資料の体裁として、前年度のみならず、複数年次の実績を確認できるよう配慮いただきたい。
- ・都市経営課長：同一事業者であれば、御指摘の件を反映できる可能性もあるため検討事項としたい。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「ア」を終了する。

イ 地域包括支援センターの外部委託中間報告について 資料2

- ・高齢者支援課長：事業概要説明。資料は課長補佐から説明する旨を告げる。
- ・課長補佐（塚田）：資料説明（「外部委託状況」「相談窓口の周知」「町との連携」「委託業務実績（4～9月）」「委託に伴う早期支援・介護予防の取組」）
- ・委員長：意見・質疑はないか？
- ・常通委員：当該事業は、委託期間中において半年ごとの報告となるのか？民間への委託事業として初年度であることからの報告か？
- ・課長補佐：事業の初年度として報告とした。今後は年1回の報告としたい。
- ・常通委員：時期はいつ頃か？
- ・課長補佐：町の総合保健医療福祉協議会（高齢者・介護部会）での報告（5～6月）を終えた後の時期を想定したい。
- ・黒田委員：民間委託による特筆すべき効果は？
- ・課長補佐：専門職員の配置により、丁寧かつ迅速に対応できていること。また、関係機関との連携も円滑に進んでいることと捉えている。
- ・委員長：他にないか？
- ・(意見・質疑なし)
- ・委員長：以上で調査事項「イ」を終了する。

- ・委員長：お諮りする。調査事項「ア」について、自由討議はあるか？
- ・常通委員：特に不要と考える。
- ・委員長：特に自由討議はせずに終了とする。
- ・委員長：調査事項「イ」について、自由討議はあるか？

- ・黒田委員：1年ごとに現状と課題を調査することで、良いと考える。
- ・橋本委員：1年を単位とした評価が適当と考える。
- ・委員長：委員からの意見を踏まえて、1年単位で調査することとする。

3 その他

(1) 次回委員会の開催日程について

正副一任とする。

(2) その他

- ・委員長：例年恒例となっている「どんぐり会」との意見交換会についてお諮りする。先方から11月下旬から12月上旬で平日夜の日程で依頼があった。対応することで決定して良いか？
- ・常通委員：例年恒例となっている貴重な意見交換の場なので、開催することで良いと思う。また、開催会場は、新型コロナウイルス感染症対策も念頭に置き、柔軟に検討すべきと考える。
- ・委員長：日程調整は先方と協議し正副一任としていただきたい。異議ないか？
- ・(なし)
- ・委員長：事務局からないか？
- ・(なし)

以上をもって、厚生文教常任委員会を終了する。

傍聴者数	一般者	0名	報道関係者	0名	議員	0名	合計	0名
------	-----	----	-------	----	----	----	----	----

令和4年10月27日

厚生文教常任委員会委員長 渡辺 洋一郎